

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	SOI STANCE KIDS (児童発達支援)			
○保護者評価実施期間	令和8年3月15日		～	令和8年3月29日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数)	8
○従業者評価実施期間	令和8年3月15日		～	令和8年3月29日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月15日			

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	作業療法士、言語聴覚士、保育士など児童支援の専門家が認知、運動、コミュニケーション、社会性のアセスメントを行い個別プログラムを立案し介入する。	評価結果を職員間で共有・ディスカッションを行いながら個別プログラムへ反映している。アセスメント結果を保護者にもより分かりやすく伝えるために保護者へ動画や写真を用いて情報共有を実施している。 職員間での研修を実施している。	一定期間ごとに再評価を実施し、発達の変化や支援効果を定期的に検証する仕組みを整えることで、より精度の高いプログラムの見直しにつなげていきます。
2	1対1の短時間個別の支援を中心に、集中できる環境を整え児童の特性に合わせた支援を行う。個別支援のため本人にとって必要な課題を提供することができる。	児童一人ひとりの特性に応じて、刺激量(音・視覚・空間)を調整した環境設定を行い、短時間でも集中できる支援を実施している。	今後は、支援場面だけでなく保育園・幼稚園や家庭でも活かせるよう、環境調整や関わり方のポイントを保護者・関係機関へ具体的に共有していく。
3	児童発達支援においては、朝9時に来所された児童に対し個別支援を実施し、11時頃に保育園・幼稚園への送迎を行っています。送迎時には、園職員と連携を図り、児童の状態や支援内容、関わり方のポイント等について情報共有を行い、継続的かつ一貫した支援につなげています。	児童発達支援の利用後、保育園・幼稚園への送迎時に、園の職員へ当日の支援内容や児童の様子、効果的であった関わり方を具体的に共有している。児童発達支援と園での生活が分断されないよう、支援方針や関わり方の統一を意識し、一貫した対応ができるよう連携を図っている。	今後は、口頭での情報共有に加え、連携シート等を活用した継続的な情報共有の仕組みづくりを進めていく。必要に応じて園への訪問やケース会議を実施し、児童の特性や支援方法についての共通理解を深めることで、より一貫性のある支援体制の構築を目指していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	専門職による多面的な評価・個別支援を行っている一方で、支援の質が職員個々の経験やスキルに依存しやすく、支援内容にばらつきが生じる可能性がある。	経験年数や専門分野が異なるため利用児、家族に重複した、もしくは見解のことなる課題や情報を提供しないように職員間の密な連携、情報交換が必要。	児童別に症例検討、会議の時間を設け情報共有を行う。 各専門職の内容を理解するために職員間で研修を行う。
2	1対1の個別支援を中心としているため、集団場面での適応や対人関係スキルを実践的に学ぶ機会が限定的となる可能性がある。	個別支援の質を重視していることにより、意図的に集団支援や社会的場面の設定機会が少なくなっているため。	個別支援に加え、小集団での活動や対人場面を意図的に設定し、実践的な社会性やコミュニケーションスキルを育む機会を拡充する。
3	朝9時からの受け入れ体制としているため、保護者の送迎負担が生じる場合がある。	個別支援の質を担保するため、午前中の時間帯に集中して支援を実施する必要があり、受け入れ時間が限定されていることが要因となっている。 また、保育園・幼稚園との連携を前提としたスケジュールであるため、柔軟な時間設定が難しい側面がある。	保護者への説明や情報提供を丁寧に行い、本支援体制の意義やメリットへの理解を深めていただくことで、安心して利用できる環境づくりにも努めていく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		SOI STANCE KIDS (児童発達支援)		公表日		令和8年3月30日									
		利用児童数		11		回答数		8		回答率		72%			
		チェック項目		はい		どちらとも いえない		いいえ		わからない		ご意見		ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。		7	1							・広く綺麗だと思います。	・部屋数は十分に確保されており、個別活動から集団活動まで、シーンに合わせた使用が可能です。		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。		8											
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。		6	1	1							・写真やイラスト等の視覚的支援があると、もっと良い。 ・自宅以外のトイレに入る事が苦手ですが、こちらのトイレは問題なく入れます。構造が分かりやすく、居心地が良いのだと思います。	・手すりや足台など、お子さんが安全にご利用できる空間作りを行なっています。ご意見にもあるように、お子さんに合わせて視覚的支援も取り入れています。お子さんがより分かりやすく快適にご利用していただけるように今後も努めていきます。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。		7	1								・清潔だと思います。	・掃除当番表を作成し、職員で日々清掃を行なっています。また、個別活動ができる空間を用意しており、その日の様子に合わせて部屋を変更することもあります。	
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。		7	1							・子供の苦手分野を伸ばす支援をして下さっています。ヘルプ言葉が、少しずつ増えてます。	・標準化された検査や事業所独自のアセスメントを実施しています。引き続き、お子さんの特性に合わせた支援を行なっていくよう努めます。		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。		8											
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。		7	1										
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。		7	1							・本人、家族共に支援して下さっていると思います。	・ガイドラインに基づき、お子さんやご家族に合わせた各支援内容を設定しています。		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。		7					1			・なかなか日々の多忙なスケジュールの中で、どのような療育がされているか細かく知る機会が少ないですが、たまに教えてもらう様子や療育内容は専門的でとても良いと思っています。	・アセスメント結果などをもとにお子さんの特性に合わせた計画書を作成し、専門職のスタッフが支援を行っています。		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。		7	1							・様々なプログラムがあり、子供が楽しみながら、学べてます。	・その日のお子さんの状況、様子に応じてプログラム内容を調整して対応しています。		
11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。		1		2	5									
保護者 への 説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。		7	1										
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。		7	1										
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。		6	1			1				・説明があった気はしますが、覚えてないです。	・お子さんに関する相談や希望がある方などに研修情報や講演の案内をお送りしています。		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。		7	1							・子供の様子を詳しく教えて下さいます。	・保護者の方が迎えに来られた際には必ずその日の訓練内容を共有しています。具体的な様子分かるよう、LINEでは写真や動画での共有もしています。		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。		5	2	1						・モニタリングの面談が行われてない気がする。	・適宜フィードバックを行うようにしています。お迎えの際にもお話することもあります。LINE等で詳しくお話しすることもあります。		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。		7	1								・感謝しています。	・引き続き、お子さんが前向きにご利用できる関わりに努めていきます。	
18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。		3	1	2	2									
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。		7						1						

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	8				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	6		1	1	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	6	1		1	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	3	1		4	・地震が発生した際に、すみやかに安全な場所に避難して下さいました。 ・各マニュアルを作成し、避難訓練も定期的を実施しています。引き続き、安心してご利用していただけるよう対策に努めていきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	2	1		5	・避難訓練がされているかは分かりませんが、実際の地震があった時は、すぐ避難して下さいました。迎えに行くまで、怖がる子供の側に、ずっと居て下さったみたいです。 ・各マニュアルを作成し、避難訓練も定期的を実施しています。引き続き、安心してご利用していただけるよう対策に努めていきます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	4	1		3	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	4	1		3	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	7	1			
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	7	1			・療育センターでは、やる気が全くなく、やらない事が多々ありノビシロが全然見えなかったけど、ソイスタンスに通う様になってから、親と離れて1人が嫌で泣く事はあっても、嫌と言いつつながらも、ちゃんとレッスン受けてノビシロが見えて来る気配が、親としては嬉しいし、子供も帰って来てから、楽しかったから明日も行くって言葉が聞けるとソイスタンスに通わせて良かったと思う ・毎週行くのを楽しみにしています。 ・今後とも、お子さんが楽しんで、前向きにご利用いただけるよう努めていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	7	1			・専門性に期待しています。少し辛口になりましたが、今後も通わせたいと思っています。宜しくお願いします。 ・今後とも、お子さんや保護者さんが安心してご利用いただけるよう努めていきます。

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	SOI STANCE KIDS (児童発達支援)				公表日	令和8年3月30日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4		・部屋数は十分で不足することはない	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4		・その日の予定を必要に応じて絵カード等で提示している	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		・活動内容に応じて部屋を選択 ・掃除当番表を作成し、清潔な環境作りに努めている	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4		・子供の特性や課題内容に応じて個室が使用できる ・基本的に常に個別対応可能な空間は用意	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		・コグトレ研修会参加 ・各職種による勉強会実施	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	4			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		・計画内容に沿って課題提供	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4		・標準化された検査や事業所独自のアセスメントを全員に実施している	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3	1	・その日の担当者が計画書に沿って立案するが必要に応じて相談はしている	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		・子供の状況に合わせてプログラムを変更して意欲的に取り組めるようにしている ・日々担当者が変わるため活動内容も固定化しない	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4		・子供の状況や計画書の目標によって個別、集団で活動を行っている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	1	・必要に応じて行っている	

	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	1	・必要に応じて行っている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4		・当日または翌日までに記録するよう努めている	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4		・基本的に児発管が参加	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4		・各所属先、他支援機関と情報共有を行っている	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4		・担当者会議に参加	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	3	1		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	3		・機会なし
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4		・保護者送迎時、家庭での様子を聞き取り ・活動内容や様子はLINE等で共有	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4				
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	4			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		4		・保護者会等は開催していない
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4			

	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	1		・機会なし
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4		・契約時に確認	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4		・契約時に確認	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4			
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4			